

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、ただ今、第49期生が参加中

インターン体験記③岡本麻鈴

私は今回吉田さんの一般質問のヒアリングに同席しました。

質問項目の担当部署ごとに質疑応答を行っていました。私自身、政治的なことに関わるのが初めてだったのでそれぞれの担当部署の方との交流は少し緊張しました。

全4つの一般質問の中で私が興味を持った表題は「プラスチックの資源化」についてです。現在、私も在住している町田市の南地区では、プラスチックごみはピンク色の容器包装プラスチック専用袋に入れて出しています。私は、この取り組みは町田市全体で行っていることだと思っていました。しかし、南地区でしか行っていないということを一一般質問で初めて知りました。

今回ヒアリングを行って、町田市に在住していながらも町田市の現状を全くわかっていなかったことがわかりました。なので、もっと関心を持たなければいけないと思いました。そして、町田市だけではなく社会の現状も知ることが出来、とても良い体験になりました。



玉川大学新1年生 岡本 麻鈴(第49期生)

インターン体験記⑤柳原桃花

今回は、常任委員会を見学するために、町田庁舎に向かいました。私が傍聴した健康福祉委員会では、最初に定例会において、議員が市の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり、質問を行いました。請願の内容は、町田市の廃止されてしまった葬祭事業の復活を求めるものでした。議員の方々が、請願者に対しての疑問点や、質問をし、部長や管理職の方々との話し合いを経て決議されます。市役所に直接、一般市民の方が請願者として、意見を述べる機会があることを知り、それを目の前で見る事ができたので、とても良い経験をする事ができました。その委員会室の様子を絵にしてみましたので、よろしければ、ご覧ください。一般質問の他に、予算の説明なども行われました。内容は難しく完全に理解することは出来ませんでした。が、予算について意見を交換し合っているところを実際に見ることができ、良かったです。

専修大学新3年生 柳原 桃花(第49期生)



上記の挿絵は、柳原 桃花さんが描いたものです。先に、本会議場で行われた「議案説明会」の傍聴時、メモ帳の片隅にその光景のイラストを描いていましたので、この会議に先立ち、今回はイラスト作成を事前に依頼したものです。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年3月より49期生がスタート中です。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの実施時期は、学生の夏季休暇期間となります。現在、受付中です。

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



町田市中心街は遊都町田の様相

一般質問で、町田市の中心街は、「商都町田」ではなく、「遊都町田」になっていないか、問いかけてきました。町田市中心街に大きな「遊技場」が出来ていることによって、夜の時間に、ペDESTリアンデッキのマルイ付近が明るくなっていることを町田市も承知していました。その施設は、町田市の要請によって出来たわけではなく、建築基準法などの満たした建物であるとの答弁がありました。

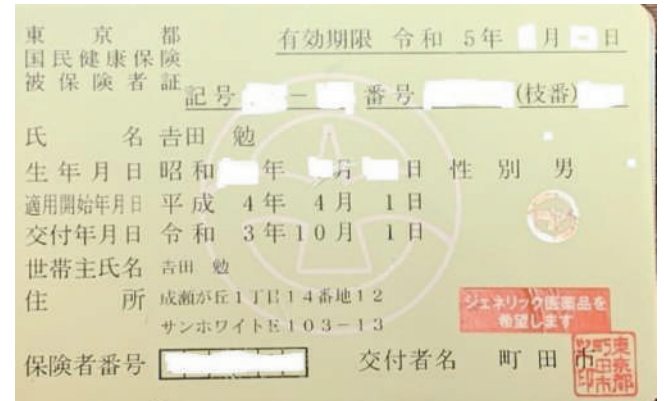


私は、町田市の顔として、小田急町田駅と JR 町田駅を結ぶ区間のペDESTリアンデッキを早期にリメイクする必要があるのではないかと主張してきました。理由は、モノレールが町田駅まで延伸してくるのにこれから10年以上の期間を要するため、その期間の町田駅の明るさを求めるものでした。町田市は今年からデッキの改修予定調査を始めますが、この新規店舗前は一気に明るくなりました。町田市は、一種の「賑わい」と解していますが、町田市がプレイタウン化することで明るくなるのは、町田市の本意ではないと理解しています。

国保税値上げ反対請願には反対

市議会の健康福祉常任委員会の審査で、国保税の改正案とそれに反対する請願を同時に審議しました。結果は、国保税の値上げ案には賛成し、値上げをするべきではないという請願には、ただ一人反対討論を行い、反対しました。採決の結果は、共産党の委員を除いて、全員が私と同じ結論でした。であるなら、請願者に対して、自分の立場をはっきり述べて結論を出すのが正当だと思ってきました。

私が述べた、国保税の値上げ、上限の引き上げを容認するのは、「国民健康保険制度を維持するために、市民税の納税者でもある社会保険加入者から、税源補填の形で二重に負担を強いるのは不合理だ」という理由です。国保の運営は、その加入者の保険料でまかなわれるのが原則と言う理由も加えました。さらに、国保の軽減方法では、ジェネリック医薬品(先行医薬品に比べ安価であるのが特徴)の利用拡大を求めました。表決前の質疑で明らかにしましたが、ジェネリック医薬品の導入は、十数年前から一早く提唱してきたもので、現在その利用率は80%に上っていますが、さらに拡充できるとの答弁がありました。



- ◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。
- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月、市議会議員選挙4期連続のトップ当選となっています